

出張報告アクティブ・ラーニング

平成30年5月28日(月)

出張から帰りました。全国校長協会総会・研究協議会に出席しました。

特筆すべきことは二つです。

まず、ひとつは、下記の資料にあるアクティブ・ラーニングの考え方の資料です。

「アクティブ・ラーニング」の手法とは、アクティブ・ラーナー＝主体的・対話的能力を生かし深い学びを実践する者を育成する目的のために、「論理力」「日本語の4技能の育成」を目標とする学びの形態です。

そのためには、生徒同士のリスペクトと、生徒の教員へのリスペクトと、教員の生徒へのリスペクトと、教員同士のリスペクトを根底とする協働の関係をベースにして、他の者に教える **teach other** = **TO** 学習とそのやりとりをリフレクション、リストラクチャーするそれまでのアクティブ・ラーニングのやりとりを80字にまとめる**R80**という再構築の手段によって、生徒の学力として定着させることが大切です。

図は、その内容を非常にわかりやすくまとめております。

二つめは、英語の4技能の資格試験に関する情報です。高校一年生から始まる新入試制度改革の目玉であり大きな課題となっておる資格試験のあり方の今後の動きについて情報を得ました。これは、もう少し後でご紹介します。

閑話休題

放送部の活動は、今佳境を迎えております。

写真は、放送部室の中に掲示しているかつての先輩の手によるものです。

凡事徹底が、放送部の歴史を作り出しています。



